

本郷新 ほんがくにん 彫刻家。明治二十八年十一月九日北海道札幌生れ、昭和五十五年二月十二日没（一九〇一—一九五五）。東京高等工芸学校卒。高村光太郎の師事。昭和九年國畫會會員と十四年退會し、舟越保武、佐藤忠良等と新制作派協會彫刻部を創設。二十五年日本美術會に参加。二十五年戰没學生記念像「わがらみのこえ」を制作、その後とへ社会性、心裏打ちされた「モニュマン」作像の道を強く推し進めた。（近秀夫）た。

著書 『彫刻の美』（昭和十七年四月、千日葛山房。再刊・二十六年七月二十日中央公論社）、『自由の旗の下に』私はなぜ共產黨員になつたのか（合著・労働教育援會編、昭和二十四年四月二十日（二）書房）等。



彫刻の美

本郷新

彫刻の美 本郷新著

美の刻彫

本郷新著

富士山房